

ポーラ・オルビスホールディングス 「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に2年連続で選定

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:横手喜一)は、英フィナンシャル・タイムズと独調査会社スタティスタが共同で実施した「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」調査において、昨年に続いて2年連続でリーダー企業に選定されましたのでお知らせします。

アジア太平洋地域気候変動リーダー企業調査とは

英フィナンシャル・タイムズと独調査会社スタティスタが共同で、アジア太平洋地域に本社を置く企業を対象に、2016年から2021年のScope1,2の温室効果ガス排出量削減(売上高比率)や気候関連の取り組み(CDP開示スコアおよびScope3排出量に関する透明性など)を評価し、取り組みが優れた上位企業275社を気候変動リーダー企業として選定しています。

当社グループでは、SBTに基づき2029年までのCO2排出量の目標を策定し、目標達成に向けて環境目標の達成度を役員報酬に連動する事で、コミットメントレベルと実効性を高めています。具体的な取り組みとして、生産工場や事業所において100%再生可能エネルギーに由来するCO2フリー電力への切り替えや、太陽光発電設備の増設を行ってきました。これらの取り組みが高く評価された結果であると考えています。

ポーラ・オルビスグループのサステナビリティプラン

当社グループでは、2017年にグループ理念を策定すると同時に、ポーラ・オルビスグループ行動綱領の改定、理念実現のためのサステナビリティステートメントを策定しました。「先端技術・サービスによるQOLの向上」「地域活性」「文化・芸術・デザイン」の3つの軸に加え、企業の基盤となる「人材活躍」と社会的責任である「環境対応」を土台とした5つの領域で、非財務目標を設定しています。

当社グループでは、持続可能な事業活動を実現する事でステークホルダーの皆さまとの信頼関係を強化し、今後も企業価値の向上につなげて参ります。

➤サステナビリティプラン 2023(2023年2月14日)

<https://www.po-holdings.co.jp/csr/data/pdf/sustainability2023.pdf>

➤サステナビリティ情報

<https://www.po-holdings.co.jp/csr/>

➤ESGに関する外部評価一覧

https://www.po-holdings.co.jp/csr/data/esg/#evaluation_link

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。